

アムンディ・マーケットレポート

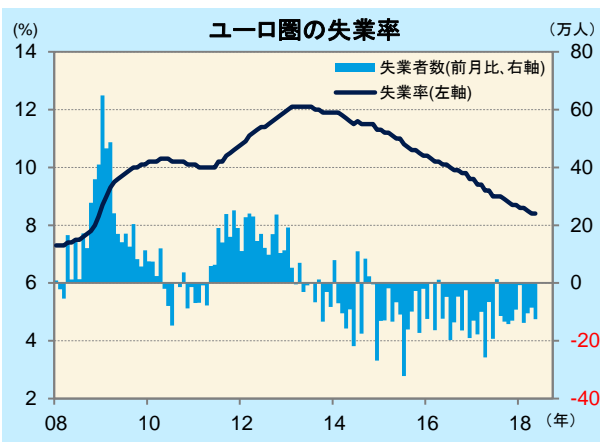
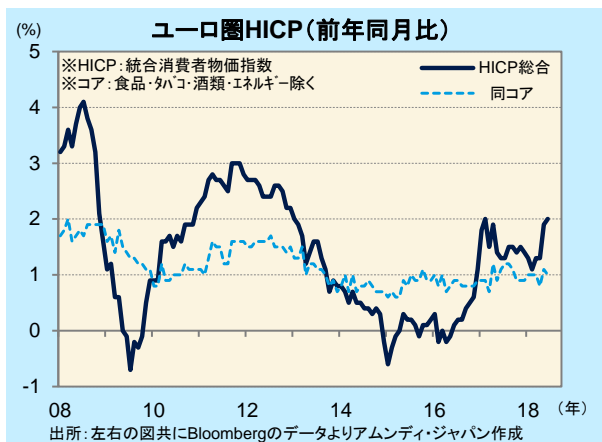
ユーロ圏の6月物価・5月雇用情勢～金融政策、為替相場の展望

- ① 6月HICPは前年同月比+2.0%、コアは同+1.0%でした。原油高が総合を押し上げ、コアは安定です。
- ② 5月失業率は8.4%と、08年12月以来の8%台前半です。イタリア、スペインが低下しました。
- ③ 好調な雇用環境からインフレ率は徐々に上昇、金融政策は慎重ながら正常化へ向かうと見込まれます。

コアは依然低位安定

6月29日にEurostat(EU統計局)が発表した6月のHICP(速報)は、総合が前年同月比+2.0%、コアが同+1.0%と、総合は1年4ヵ月ぶりに+2%台に乗せました。エネルギーが5月の同+6.1%から同+8.0%へと加速したことで押し上げられました。一方、コアは、サービスが、一部動きの大きい品目の鈍化が影響し、5月の同+1.6%から同+1.3%へ低下したことが響きました。

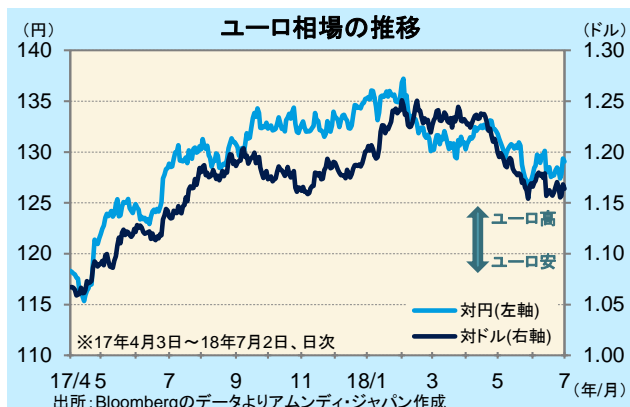
また、2日に発表された5月の失業率は8.4%でした。4月が0.1ポイント下方修正の8.4%となったため、前月比横ばいですが、08年12月以来の8%台前半です。国別で改善が目立ったところは、イタリアが前月比-0.3ポイントの10.7%、スペインが同-0.2ポイントの15.8%でした。失業者数は前月比-12.5万人、10ヵ月連続の減少でした。雇用環境は引き続き順調に改善しています。



金融政策正常化の方向がユーロを下支え

ユーロ相場は、ドイツ政局、米通商政策など、政治面が相場の動きを神経質にしていますが、5月下旬以降、狭いレンジを上下するのみ合いとなっています。

好調な雇用環境を背景に、インフレ率が徐々に上昇し、金融政策正常化の方向はより現実的になると予想されます。短期金利上昇が見込まれ、ユーロを下支えすると考えます。



当資料に関してご留意いただきたい事項

投資信託に係るリスクについて

投資信託は、値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等を要因として、基準価額の下落により損失が生じ、投資元金を割り込むことがあります。したがって、元金が保証されているものではありません。また、投資信託は預貯金とは異なります。

また、投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なります。お申込みの際は投資信託説明書(交付目論見書)・契約締結前交付書面をよくご覧ください。

投資信託に係る費用について

投資信託では、一般的に次の手数料・費用をご負担いただきます。その料率は投資信託によって異なります。さらに、下記以外の手数料・費用をご負担いただく場合、一部の手数料・費用をご負担いただかない場合もあります。詳細は、投資信託説明書(交付目論見書)・契約締結前交付書面をご覧ください。または、販売会社へお問い合わせください(カッコ内には、アムンディ・ジャパン株式会社が設定・運用する公募投資信託のうち、最も高い料率を記載しています。)

投資信託の購入時:購入時手数料[最高料率3.78%(税込)]

投資信託の換金時:信託財産留保額[最高料率0.3%]

投資信託の保有時:運用管理費用(信託報酬)[実質最高料率2.2312%(税込)]、監査費用

運用管理費用(信託報酬)、監査費用は、信託財産の中から日々控除され、間接的に投資者の負担となります。その他に有価証券売買時の売買委託手数料、外貨建資産の保管費用、信託財産における租税費用等を間接的にご負担いただきます。また、他の投資信託へ投資する投資信託の場合には、当該投資信託において上記の手数料・費用が掛かることがあります。

※上記の費用の合計額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することはできません。

<ご注意>

上記に記載しているリスクや費用につきましては、一般的な投資信託を想定しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、お申込みの際には、事前に投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

アムンディ・ジャパン株式会社

金融商品取引業者:関東財務局長(金商)第350号

加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会、
一般社団法人 第二種金融商品取引業協会

【当資料のご利用にあたっての注意事項等】

当資料は、アムンディ・ジャパン株式会社(以下、弊社)が投資家の皆さまに情報提供を行う目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。当資料は法令に基づく開示資料ではありません。当資料の作成にあたり、弊社は情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に記載した弊社の見通し、予測、予想、意見等(以下、見通し等)は、当資料作成日現在のものであり、今後予告なしに変更されることがあります。また当資料に記載した弊社の見通し等は将来の景気や株価等の動きを保証するものではありません。

<R1807011>